



長 唄

岡	松	岡	岡	岡	岡	岡	岡
要	兼	兼	兼	兼	兼	兼	兼
三	三	三	三	三	三	三	三
郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎

三 味 線

杉	杉	杉	杉	杉	杉	杉	杉
勝	勝	勝	勝	勝	勝	勝	勝
三	三	三	三	三	三	三	三
郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎

大 大 大 小 小 小 小
み み み み み み み

福	福	福	福	福	福	福	福
次	次	次	次	次	次	次	次
郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎

多	小	三	三	三	三	三	三
二	二	二	二	二	二	二	二
市	福	杉	杉	杉	杉	杉	杉
山	七	七	七	七	七	七	七
郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎

正 銘

板 九
 沢 村 利 彦
 堀 町



十二支の内

芥子大目

子 小 小 乙 己 成 亥

仁田の

物東三

出右

故

故東三

長 唄
 寄 元 再 上 安



うづるはぬぬげゆも度るも柳が根
きば一本佳ゆもひぬ花の影
まど文はちちあめのことそねねおあ
しゆいひもだむいり男をふあのと
きかひをいひかひひ孫も大原木
豊つ大原木をいひちちまも袖
ひるるまひつまよめとらー男

十二支上三

大原木をいひと夕月の枕
のるもがうらむいりつらね牛原
村でいそん美の影つと首尾あふ夜
つむはむもりくちまをいひあは
大原木をいひいそん
とめいひたの影つと首尾あふ夜
ちちまをいひちちまをいひあは

はつらみく(カイ)てもまじいおひ(カイ)かくまじしう
 かつしゆ(ゴ)ゆくらもちつ(ゴ)ゆた(ゴ)の片(カ)村(カ)
 けあふ(ビ)器(ビ)置(ビ)あて(ツ)杖(ツ)と(チ)力(チ)に(ノ)つ(ノ)ひ(ノ)の(ノ)
 ら(ノ)い(ノ)し(ノ)う(ノ)ろ(ノ)き(ノ)絶(ノ)ふ(ノ)い(ノ)ら(ノ)い(ノ)く(ノ)し(ノ)た(ノ)の(ノ)ひ(ノ)え
 海(ノ)も(ノ)ゆ(ノ)ら(ノ)む(ノ)を(ノ)あ(ノ)は(ノ)ら(ノ)お(ノ)い(ノ)ら(ノ)む(ノ)の(ノ)平(ノ)家(ノ)器(ノ)置(ノ)
 一(ノ)ま(ノ)い(ノ)び(ノ)ぐ(ノ)ー(ノ)し(ノ)ん(ノ)じ(ノ)あ(ノ)ふ(ノ)入(ノ)道(ノ)相(ノ)國(ノ)一(ノ)
 日(ノ)十(ノ)戒(ノ)を(ノ)た(ノ)め(ノ)つ(ノ)て(ノ)あ(ノ)ら(ノ)む(ノ)ゆ(ノ)ら(ノ)む(ノ)の(ノ)酒(ノ)子(ノ)行(ノ)三(ノ)

十二支上九

危(フ)淫(シ)回(シ)美(シ)織(シ)七(ノ)が(ノ)め(ノ)ん(ノ)し(ノ)う(ノ)い(ノ)ら(ノ)あ(ノ)ら(ノ)ま(ノ)ら
 し(ノ)ほ(ノ)あ(ノ)し(ノ)て(ノ)あ(ノ)つ(ノ)て(ノ)ら(ノ)あ(ノ)ら(ノ)ま(ノ)ゆ(ノ)く(ノ)て(ノ)深(ノ)平(ノ)入(ノ)三
 し(ノ)い(ノ)ら(ノ)あ(ノ)ら(ノ)ま(ノ)ら(ノ)の(ノ)夜(ノ)軍(ノ)あ(ノ)ら(ノ)ま(ノ)ら(ノ)あ
 四(ノ)び(ノ)ん(ノ)と(ノ)矢(ノ)あ(ノ)ら(ノ)ま(ノ)ら(ノ)の(ノ)船(ノ)頭(ノ)の(ノ)ま(ノ)ら(ノ)扇(ノ)れ
 的(ノ)ら(ノ)ま(ノ)つ(ノ)こ(ノ)ら(ノ)じ(ノ)て(ノ)枕(ノ)と(ノ)あ(ノ)ひ(ノ)て(ノ)香(ノ)落(ノ)が(ノ)う(ノ)で
 の(ノ)骨(ノ)三(ノ)保(ノ)谷(ノ)が(ノ)音(ノ)れ(ノ)骨(ノ)あ(ノ)ん(ノ)や(ノ)う(ノ)ん(ノ)く
 あ(ノ)ら(ノ)ま(ノ)ら(ノ)く(ノ)ら(ノ)ん(ノ)と(ノ)あ(ノ)ら(ノ)ま(ノ)ら(ノ)ら(ノ)あ(ノ)ら(ノ)ま(ノ)ら(ノ)い(ノ)あ(ノ)ら(ノ)

申 麻の神

杵屋勝五郎撰

二上り巻三

此世の業の神といふ麻の神の心を
 つかへていへりいへりいへりいへり
 猪小糠うといへりいへりいへり
 手より袖よりいへりいへりいへり
 衣の裾よりいへりいへりいへり
 足元よりいへりいへりいへり
 神の心をいへりいへりいへり

十二支下

此世の業の神といふ麻の神の心を
 つかへていへりいへりいへりいへり
 猪小糠うといへりいへりいへり
 手より袖よりいへりいへりいへり
 衣の裾よりいへりいへりいへり
 足元よりいへりいへりいへり
 神の心をいへりいへりいへり

酒

雞娘

瀬川如皋述

此世の業の神といふ麻の神の心を
 つかへていへりいへりいへりいへり
 猪小糠うといへりいへりいへり
 手より袖よりいへりいへりいへり
 衣の裾よりいへりいへりいへり
 足元よりいへりいへりいへり
 神の心をいへりいへりいへり

て二人ある夜の隠れおをわたり一夜に
留本たせむらうアハまゝなるささるた
きたまのむのたてしうの人のいひたを
たんとせくうのむのむのたてしうの
夜もむのむのむのむのむのむのむの
物もむのむのむのむのむのむのむの
のたむのむのむのむのむのむのむの

十二支下巻

み夏性くたてのむのむのむのむのむのむの
むのむのむのむのむのむのむのむのむの
物かむのむのむのむのむのむのむのむの
手枕みちまじりたてむのむのむのむの
又つたむのむのむのむのむのむのむの
叶の羽もむのむのむのむのむのむのむの

今おはしくしてまゝのじやる

成 四休書

杵屋勝五郎撰

ふるまひもわた身はゆくまらぬ由
 戸あつてもまへしものよのゆめ
 えうせと彼おとらたのさうらう
 ちかやもさうらうさうらう
 むしやういさのさうらう
 十二支下五

あつちやいせもせう
 のあつちやいせもせう

賣 仁田四郎

ふるまひもわた身はゆくまらぬ由
 戸あつてもまへしものよのゆめ
 えうせと彼おとらたのさうらう
 ちかやもさうらうさうらう
 むしやういさのさうらう

今おはしついでいよむじたる

成 四休書

杵屋勝五郎撰

ニヒリ
よるもむねたふしゆくきぢきも
かちもきんもむねのよのむね
えうたけはむねのむねのむね
かちむねのむねのむねのむね
かちむねのむねのむねのむね

十二支下六

あつらむねむねもせむらうむね
のむねのむねのむねのむね

実 仁田四郎

ニヒリ
むねのむねのむねのむねのむね
むねのむねのむねのむねのむね
むねのむねのむねのむねのむね
むねのむねのむねのむねのむね

とつひのちかきあひいふあつひのこ
がひひとうあめあめてさつひのぬゆみ
とりれ^{ふとえん}今^ぶ不^{たう}双^ふのさ^さら^らを^を強^あふ
もう^うの^うと^と三^{さん}大^{たい}や^や又^{また}大^{たい}橋^{はし}の^の花^{はな}分^{ぶん}河^か
さう^{さう}の^のい^いせ^せぬ^ぬか^かま^まさ^さる

文化十一年戌年三月

澤村藏板

十二支トヒテ